

ボーイスカウト東京連盟
あすなろ地区 広報誌
第35号
2021年(令和3年)
7月4日
組織拡充・広報委員会

地区年次総会で表彰

4月28日(水)、地区年次総会が書面方式で開催されました。

地区年次総会は例年、対面で行われていますが、新型コロナウイルス感染防止のため、本年も昨年と同様に、付議事項を書面でお知らせし、書面による意思表示を集計して報告、議決に代える書面方式となりました。

なお、総会議案の2020年度の事業報告と決算報告、2021年度の事業計画案と予算案などの付議事項は、原案通り可決されました。

この総会で表彰、受章された方は次の通りです。(敬称略)

【あすなろ地区表彰状】

中野8団 鈴木 孝典 杉並3団 成田 文浩 杉並9団 津村 道夫
杉並11団 高木 悟、西村 福太、石阪 浩一 杉並13団 野内 辰輔

【あすなろ地区有功記念章】

中野5団 島田 雅彦 杉並3団 松窪 美香 杉並5団 稲川 靖代、関戸 亜弥、湖西 祥平
杉並11団 三田 明、梅原 靖士 杉並12団 橋田 典幸、小平 吉彦、中原 一行
杉並13団 大武 佳子、澁谷 武弘

【あすなろ地区地区感謝状】

ひよどり山キャンプ場

中野8団 中村 俊幸(故人) 杉並2団 平野 謙吾(故人)

東京連盟社員総会で受章

5月22日(土)、東京連盟社員総会は初めてオンラインビデオ会議で開催されました。

総会で表彰を紹介され、受章されたあすなろ地区の方は次の通りです。

また、2021年度継続登録時にスカウトを60名以上登録している団として、中野8団(スカウト数合計65名、全登録者数91名)、杉並11団(スカウト数合計74名、全登録者数115名)が紹介されました。

【県連盟有功章】

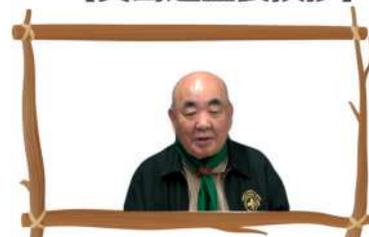
杉並3団 松原 隆二
杉並6団 朝倉 譲

【県連特別有功章】

杉並3団 朝倉 雄一郎
杉並6団 森田 昭弘、山中 喜美子、
大島 正和、宮崎 直紀



【奥島連盟長挨拶】



【白川理事長挨拶】



日本連盟全国大会はYouTube配信

◇ はなやかなオープニング ◇

5月29日(土)～30日(日)、日本連盟全国大会は、コロナ禍のため、昨年に引き続きオンライン開催となり、開会式の映像が投稿サイト「ユーチューブ」で公開されました。

29日(土)の正午から公開された画面では、昨年の全国大会開催地の神奈川県連盟横浜カラーチームのフラッグパフォーマンスと、地元静岡県連盟静岡第26団のトランペット鼓隊の演奏による共演のオープニング画像により、はなやかな開会となりました。



◇ 24年ぶりの総裁 ◇

日本連盟全国大会は水野正人理事長の挨拶のあと、日本連盟の象徴である総裁に経団連名誉会長の御手洗富士夫氏が就任することになり、推戴式がおこなわれました。

日本連盟の初代総裁は、東京市の市長を務めた後藤新平総裁で、5代目の井深大総裁(代行)のあと、24年ぶりに6代目の総裁となりました。

長年の功績にあった方々の表彰式はコロナ禍のため、受章者のお名前が紹介されました。



◇ 「期待に応えられる団を目指そう」のテーマ集会では… ◇

30日(日)には、事前申込みによるオンラインのテーマ集会がありました。

テーマ集会の「期待に応えられる団を目指そう」では、愛媛県西条市内の3つの団(総加盟員数110名)が地区として開催した「ワクワク自然体験あそび」の報告で、参加者募集にあたって市の後援名義を得て学校へのチラシ配布がしやすかったこと、3回の開催で労力はかかったものの、参加者は日程を選択でき、密を避けて、運営を効率化できたこと、ボルダリング体験ができる施設が利用できたことなどが挙げられました。

また、スカウトが運営の中心になり、指導者は裏方になったことで、参加者はボーイスカウトの活動をイメージしやすかったこと、国旗儀礼やソングは割愛して場の雰囲気柔らかくしたことなどの発表があり、チャットでの質疑応答もありました。



実施概要

◇ ボーイスカウト流 ゆかいなゲーム



◇ ボルダリング体験



ハイク200（プラチナハイカー）の伝達

4月16日(金)にオンラインで開催された地区委員会の開催に先立ち、杉並11団の平井飛向さんに東京連盟ローカルアワードのハイク200（プラチナハイカー）が伝達されました。



平井さんに思い出深いハイクを伺いました。

1. 下井草教会～浅草往復35km（2020年2月）

コロナ禍での活動制限開始直前に行った活動拠点の下井草教会の中庭での2泊の班キャンプ中に行ったハイク。下井草教会から新青梅街道を通り、飯田橋付近を經由して浅草を往復した。

行きから足が痛くなり、最後はかなりばてた。浅草の出店で昼食を買って食べる計画だったが、結局コンビニでおにぎりを買って食べることになった。



2. 玉川上水～小金井公園～下井草教会20km（2018年6月）

隊のオーバーナイトハイクで、玉川上水駅から玉川上水沿いを歩き、途中、小金井公園で休憩。その後、千川上水沿いを歩き、活動拠点の下井草教会に戻ってきた。運動会のあった夜に参加し、翌朝家に帰ると疲れで爆睡した。ボーイスカウトに入るとこんなハイクも行うのかと思い、とても印象に残っている。

3. せせらぎキャンプ場～子ノ権現～吾野駅10km（2019年8月）

班移動キャンプのハイクとして、前日に飯能のキャンプ場で宿泊し、翌朝テントなど大きい荷物を背負って、子ノ権現を通り、吾野駅まで歩いた。登山口までのアスファルトのくねくね道が大変で、いつもより荷物が重く、山道の登りも大変だった。歩くペースが速くて他の人より先に行ってしまう、先輩スカウトに怒られた。

菊スカウト章の伝達

◆ 3月19日(金)にオンラインで開催された地区委員会の開催に先立ち、杉並6団の松岡 遼さんに菊スカウト章が伝達されました。



◆ 5月27日(木)にオンラインで開催された地区委員会の開催に先立ち、杉並6団の三枝真杜さんと三枝遥陽さんに菊スカウト章が伝達されました。

菊スカウト進級証

コミッショナーの編成が変わりました

地区コミッショナーの任期は2年で、6月30日に更新となり、7月1日から地区コミッショナーの編成、分担する任務は以下の通りとなりました。

地区コミッショナー

飯沼 利雄（杉並12団）

地区副コミッショナー

BVS部門支援、同ラウンドテーブル、組織拡充・広報担当

CS部門支援、同ラウンドテーブル、指導者養成担当

BS部門支援、同ラウンドテーブル、国際、信仰奨励担当

VS部門支援、同ラウンドテーブル、進歩担当

RS部門支援、同ラウンドテーブル、野営行事担当

沼上 晶子（中野8団）

小倉 栄一（中野8団）

内田 朋子（杉並3団）

古川 久生（杉並6団）

永倉 実（杉並11団）



団担当コミッショナー

中野区の団（3, 5, 8, 11団）担当

杉並区の団（2, 3, 4, 5, 6, 9, 11, 12, 13団）担当

下地 俊一（杉並11団）

大原 俊（杉並5団）



地区コミッショナー 杉並12団 飯沼 利雄

守り手、担い手として

この度、地区コミッショナーに就任いたしました杉並12団の飯沼です。

これまでカブ、ボーイ、ベンチャー、ローバー部門担当の副コミッショナーとして、10年間務めさせていただきました。

本年7月からは、地区コミッショナーとして、気持ちを新たに本運動の守り手として、また担い手になれるよう、関係者の皆さま方のご指導、ご鞭撻を賜り、役務を果たしていきたいと思っています。

今年度はあすなろ地区発足10周年行事を行う節目の年になります。

また来年は「ボーイスカウト日本連盟創立100周年」を迎え、8月には東京中央会場と全国6ブロックのサテライト会場で分散開催される「第18回日本スカウトジャンボリー」が控えています。

こうした大切な行事の重なる年に、地区コミッショナーとして携わることの責任を感じるとともに、役割を果たせることをとても嬉しく思います。

スカウト活動はコロナ禍によって制約が続いている状況ですが、副コミッショナー、団担当コミッショナーとともに、各団の指導者の皆様と歩むべき先を展望しながら、今できる最善のことを話し合い、協力しあって、よりよいスカウト活動を展開できるように努めていきたいと思っています。

みなさま、よろしくお祈りいたします。



地区副コミッショナー（ボーイ部門担当） 杉並3団 内田 朋子

意見を出し、知恵を出し合って、よりよい答えを

7月より「ボーイ部門副コミッショナー」となりました。

「時間に余裕ができたなら自分のことだけでなく、できることを少しずつ行っていこう」と考えておりました。そんなタイミングにお声がけいただきました。

昨年度は、世界中が新型コロナウイルス禍の大きな影響を受けた歴史的な年となりました。4月の緊急事態宣言により、学校は休校となり、会社はリモート勤務を推奨し、スカウト活動も対面活動は禁止となりました。「指導者として一体何ができるのだろうか?」、「スカウトたちはどうしているのだろうか?」、疑問と心配が渦巻くばかり。そんなときにパソコンや携帯電話を使ってWEBで集会を行っている団があることを知りました。

手探り状態ながら、初めてのWEB集会を開催してみました。心配は杞憂に終わり、スカウトたちは実に楽しそうにおしゃべりしているではありませんか!

その後、地区でも委員会やラウンドテーブルはWEB開催となりました。WEB開催になると移動の時間がないために、以前よりも参加者が増えるという良い点もありました。ラウンドテーブルでは、各団の様々なことを情報共有することができ、大変ためになりました。対面活動ができないことをマイナスとせず、今できることは何かを考えるいいチャンスになったと思います。

今、世の中では自由な雰囲気は少しずつ減ってきているように感じます。“村度”や“予定調和”などという言葉があふれています。立場や経験が異なれば、意見や考え方も異なることは当然あります。そんなときに大切なことは意見を出し、一緒に知恵を出し合って、よりよい答えを導き出すことではないでしょうか。さまざまな意見の中で、より良き方向を考えていく、そんな場づくりのお手伝いが少しでもできれば、と思っています。

わからないことだらけではありますが、精一杯頑張っていきたいと思っています。

どうぞよろしくお祈りいたします。



地区副コミッショナー（ローバー部門担当） 杉並11団 永倉 実

ローバーを支援し、ともに学ぶ

この度、ローバースカウト部門担当として、地区コミッショナーグループに参加させて頂くこととなりました杉並11団の永倉です。

今まで円卓会議や地区活動等を通じて共に活動して来た各団指導者の皆様と、これから地区の職務を通じてご一緒する事を光栄に感じています。

ローバースカウト部門の対象年齢は18歳から25歳。幼少の頃からスカウト活動に参加し、大学や専門学校等で学業を継続しているスカウトがほとんどです。ローバースカウトは、進歩制度から「卒業」して自由。指導者は彼等、彼女等のアドバイザーですので、他部門のような指導は原則的に行いません。従って、スカウトとして行うべき事は、自ら考えて行動することとなります。

ローバースカウト年代はまさに青春期。高度な学業に、アルバイトに、専門的な部活動やサークル活動に、友人達との交際等にと、とても多忙な時期でもあります。この社会へのモラトリアムをどのように過ごすか、どのようなスカウト活動をどのように行うか。自由であるが故に自主性や自立性、そして積極性が求められます。

ローバーは、ビーバーからスタートし、カブ・ボーイ・ベンチャーへと繋がったスカウト一貫教育の最終部門。ローバースカウト達が各部門で得た知識や経験、培ってきた「人格」「健康」「技能」を活かし、後輩スカウトの指導に留まらず、自団や地区をも超えたダイナミックな活動を通じて自ら成長して行くために、地区として各団ローバー隊およびスカウト達を支援することが職務であると認識しております。

ローバースカウト活動は社会に旅立つ最後の仕上げ。活動へのアドバイスを通じ、彼等彼女らの社会への門出をお手伝い出来ればと考えております。

私自身もローバースカウト達と共に学んで行く所存ですので、地区各団の皆様からの引き続きのご指導をよろしく願いいたします。



指導者技能訓練 歌の練習、集散法など

7月3日(土)、指導者技能訓練がなかのZEROで開催され、指導者16名、スタッフ11名が集まり、第一部はセーフ・フロム・ハームのセミナー、第二部はスカウトソング、第三部は集合、解散などの基本動作を学びました。

セーフ・フロム・ハームの講師の飯沼地区コミッショナーからは、7月より新編成のコミッショナーグループ紹介のあと、“セーフ・フロム・ハームは人として行うべき社会ルールやマナー”などの解説がありました。



新しい編成のコミッショナーの紹介



セーフ・フロム・ハームのお話



“マルマルマル”の歌を動作付きで練習



“カブコール”の注意点

AEDを使って人命救助 救急法の知識を活用

杉並6団ローバースカウトの猿田高久さんは3月22日の帰宅時に、自宅近くの杉並区松庵3丁目で、男性が心肺停止状態で倒れていたのを発見しました。

猿田さんは通行人に協力を求め、近くのコンビニでAED（自動体外式除細動器）借りてくるとともに、男性の脈拍と呼吸がないことを確認して、胸骨圧迫・心臓マッサージを行い、電気ショックの救護措置を行いました。

しばらくして救急車が到着し、男性は救急病院に搬送されて一命をとりとめることができ、その後無事に社会復帰したとのこと。

猿田さんは以前、地区の救急法講習会を受講してAEDの使い方や救急法の手順を知っていたことが、尊い人命の救助につながりました。

猿田さんの人命救助の貢献に対し、4月29日、猿田さんの自宅に荻窪消防署の職員が訪問して、玄関先で感謝状が授与されました。



人命救助で日連表彰 杉並12団の前リーダー

杉並12団の前カブ隊長で、仕事の関係で仙台1団ボーイ隊副長（現在は在住する広島第24団ボーイ隊副長）の佐藤憲明さんは、昨年10月7日午前9時30頃、広島市中区の交差点で心肺停止に陥った男性に対し、周囲の人たちと協力して心臓マッサージやAEDによる応急手当を施し、尊い命を救ったことから、5月29日の日本連盟全国大会で、褒状が授与されました。

佐藤憲明さんは「とっさの事でしたが、ボーイスカウトの救急法で覚えていたことを実行できて、結果人命を助けられ、大変良かったと思います」とのことでした。



技能章を取得しました

2020年度中に、あすなる地区各団で取得された技能章は表の通りです。

興味のある技能章や進級に必要な技能章に挑戦して新しい発見を重ね、さらに活動の機会を広げて、知識を深めましょう！

	杉2	杉3	杉4	杉5	杉6	杉9	杉11	杉12	杉13	中3	中5	中8	中11	計
野 営 章		1		1			3					1		6
野 営 管 理 章		1												1
救 急 章		1												1
野 外 炊 事 章				1		1	1					1		4
パイオニアリング章		3			4		3	3	4		2			19
リーダーシップ章				3	4	1	5					1		14
ハイキング章				6	3		7							16
スカウトソング章				5	3	1	7							16
計 測 章				4			5							9
観 察 章				5										5
世 界 友 情 章								1						1
通 訳 章							1							1
音 楽 章							1							1
珠 算 章							1							1
消 防 章							1							1
測 量 章		1					3							4
鳥 類 保 護 章							4							4
自 転 車 章							2							2
武 道・武 術 章							1							1
計	0	7	0	25	14	3	45	4	4	0	2	3	0	107

杉並3団と杉並5団の合同春キャンプ 杉並5団ボーイ隊長 森 宇宙

2018年の第17回日本スカウトジャンボリー以降、杉並3団と杉並5団では、定期的に合同活動を開催しています。今回は3月27日～29日に地蔵山野営場で、感染予防をしながら2年ぶりの合同春キャンプを行いました。

キャンプ前の緊急事態宣言中も、合同オンライン集会で計画・準備を進めていましたが、実際に対面するのは久しぶりです。キャンプ当初はよそよそしい雰囲気もありましたが、2度のアイスブレイクゲームやナイトゲームで徐々に打ち解けていきました。

2日目のメインプログラムは、班対抗のスカウト技能ラリー。3団ベンチャー隊も加わり、スカウト技能6種目を競い合いました。この日の夕食であるホイル焼きは、各種目の順位に応じたポイントによる食材選択制です。班の仲間と協力しながらラリーを楽しみ、総合1位は3団キツネ班が見事に獲得しました。

2日目の夜は大営火。5団ベンチャー隊も移動キャンプから合流し、3団と5団のベンチャースカウトがエールマスターを担当。さすがはベンチャースカウト、大営火を大いに盛り上げてくれました。

残念ながら3団スカウトは大営火後にキャンプを終了し、帰宅となりました。合同活動は2日間でしたが、両団のスカウト共に「楽しかった!!」との感想が聞かれ、充実した合同キャンプとなりました。

この1年間は新型コロナにより大幅に活動が制限されましたが、最後に最高のキャンプで締めくくることができました。「Scouting Never Stops!」新型コロナに負けず、今年度も楽しく活動していきましょう!



満開の桜のもとでの合同開所式のあとは、班ごとに快適なキャンプサイト作り



2日目の班対抗スカウト技能ラリーでは、長さを図る計測、コンパスでの進路発見ゲーム、担架の搬送等で競いました



夕食の後は、雨を避けてフライの下での楽しい大営火

感謝のみ残して撤営

青空のもとで上進・入隊式

杉並12団

杉並12団は例年、杉並第一小学校の体育館を借りて上進・入隊式を開催していますが、コロナウイルスの関係で借用できないため、4月11日(日)、阿佐谷神明宮の境内で上進・入隊式を開催しました。

参加者は非接触体温計で測定し、消毒液で手洗いし、集合写真の撮影時以外はマスク着用の感染予防をしました。

新緑の木立に囲まれた境内は春風もさわやかで、マーキーテントを張り、国旗、隊旗やキャンプ用の椅子をならべ、神前に全員で参拝しました。セレモニーでは連盟歌や団歌は斉唱せず、音楽テープを流して歌わないで済ませました。

ビーバーからカブへ、カブからボーイなど、上進スカウトは元気よくロープを飛び越えて上進し、ビーバー隊には新しい入隊者を迎え、各隊の入隊式を行いました。

指導者の任命や皆勤賞、精勤賞、友情バッジの表彰などは名前の紹介だけにとどめて簡素化し、式の後に表彰状、記念品などが手渡されました。



開会前に全員で参拝



指導者席とスカウトの席



ロープを飛んでビーバーからカブに！



カブからボーイに上進



ベンチャーからローバーに上進



ビーバー隊の入隊式



カブ隊の入隊式



ボーイ隊の入隊式



信仰のおはなし

信仰奨励委員長 杉並9団 津村 道夫

ボーイスカウトの「ちかい」では、一番最初に「神（あるいは仏）にまことを尽くす」ことを誓いますね。

ボーイスカウトの創始者ベーデン・パウエルも、このことをとても大切にしていました。でも皆さんは、このちかいの意味をしっかりと考えたことは、なかなかないのではないのでしょうか。

そこで、あすなる地区の「宗教団（寺院や教会が母体の団）」の教導職の先生方に、お話をいただくことになりました。

お話を聞いて、少しでも「信じる」ことについて考える機会になればうれしいです。



杉並11団育成会員 カトリック下井草教会 主任司祭 並木 豊勝

人は家とか畑、車やコンピューターなど、いろいろな物を作って生活して来ましたが、自分自身をゼロから作ることはできません。いなかった自分が今はここにいる、のは両親が私をつくってくれた、からではありません。親も私を知らなかったのに、私は生まれてきました。そのもっと前をたどれば、私の親も先祖の人々もいなかったのです。

さらにまた、宇宙が地球や人間をつくりだしたわけでもありません。宇宙も今から138億年前に始まった、と科学者は言っていますから、その前はなかったのです。

ここで私たちは、宇宙や人間を超えた大きな意思に出会うこととなります。その意志は、誰かに作られたのではなく、ひとりでにできたのでもありません。それは目に見えないだけでなく、科学的に検証されるものでもありません。そういう永遠の存在者がなければ私たちはいません。宇宙も人間も、自分で自分を無（ゼロ）から造り出すことはできないからです。

スカウト活動の創始者ベーデン・パウエルは以上のことを知っていて、神に誠をつくすことをスカウト精神の中心としました。宇宙も私たちもこの大きな、永遠の意思に存在を与えられ、生かされてここにいるのです。そして、神のことを知りたいなら、自然界と人間自身を知る必要があります。なぜなら**作者はその作品を通して示されている**からです。宇宙全体は作品で、その作者は神なのです。

<聖書のことば>

不義によって真理の働きを妨げる人間のあらゆる不信心と不義に対して、神は天から怒りを現わされます。

なぜなら、神について知りうる事柄は、彼ら(*)にも明らかだからです。神がそれを示されたのです。世界が造られたときから、目に見えない神の性質、つまり神の力と神性は被造物(**)に現れており、これを通して神を知ることができます。したがって、彼らには弁解の余地がありません。



ローマ書1章18～20節

- * 彼ら、というのは真の神を知らずに偶像を拝んでいる人々のこと
- ** 被造物、というのは初めなかったのに今はある物すべて、自然界、宇宙全体

※教導職の話を知りたい場合は、隊長を通して信仰奨励委員会にお声がけください。ご紹介いたします。